

# 総合的な学習の時間

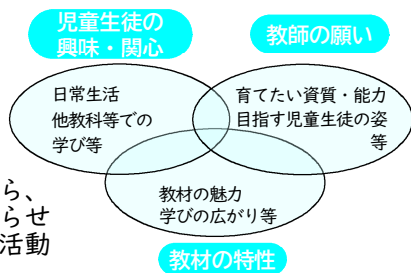
## 探究的な見方・考え方を働かせながら、探究的な学習を進める授業づくり

### 授業づくりのポイント

※数字は学習の例と対応

#### ① 三つの視点から単元構想をする

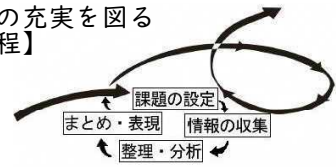
単元を構想する際は、  
・児童生徒の興味・関心  
・教師の願い  
・教材の特性  
の三つの視点から、十分に考えを巡らせて、中心となる活動を思い描く。



#### ② 探究的な学習の過程の充実を図る

【探究的な学習の過程】

- ① 課題の設定
- ② 情報の収集
- ③ 整理・分析
- ④ まとめ・表現



探究的な学習の過程では、何のために学ぶのか、どのようなことを学ぶのかということを見習い自身が考え、異なる多様な他者と協働して主体的に課題を解決しようとする学習活動が重視される。課題解決的な活動を発展的に繰り返し、探究的な学習の質を高めていくことができるようにする。

### 生徒一人一人が課題を設定し、主体的に探究を進める学習の例

#### 中学校第1学年

#### 単元名「地域の歴史と産業を学ぼう」

#### ◇単元の目標

地域の歴史や産業についての探究的な学習を通して、地域の魅力や価値を理解するとともに、地域の活性化に向けて今自分ができることを考え行動できるようにする。

#### ◇指導計画（全25時間）

##### 【第1～3時】①課題の設定

○自分が知っていることを出し合うことを通して、地域への興味・関心を深め広げ、個人の課題を設定する。

##### 【第4～11時】②情報の収集

○設定した課題について、追究する計画を立て、情報を収集する。

##### 【第12～19時】③整理・分析

○収集した情報を整理し、分析する。

##### 【第20～25時】④まとめ・発表

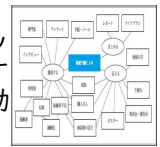
○整理・分析したことを基に、地域の魅力について話し合い、地域の活性化のために今自分ができることを考える。

#### ◇単元構想の意図

生徒の「地域について深く知りたい、もっとよくしたい」という興味・関心や意欲を生かし、探究的な学習をする機会を設けることで、主体的・協働的な探究活動にします。



単元を構想する際は、教師が教材の特性や生徒の興味・関心、疑問等を把握することが大切です。そのために、イメージマップ等を活用することも有効です。



ICT①

#### ◇学習活動（1～3/25）

##### 第1時

・地域の歴史や産業について、生徒の知識や生活経験を把握するために、アンケートを実施する。

##### 第2時

・地域の歴史や産業について知っていることを出し合ったり、アンケート結果を共有したりし、自分の興味・関心を高める。

##### 第3時

・地域の歴史や産業について、学ぶ気持ちを高め、地域の活性化に向けて自分ができることを基に個人の課題を設定する。

#### <個別最適な学び>

・一人1台端末のアンケート機能を活用するなどして、生徒の既習事項や生活経験などを把握した上で、探究的な学習を進めさせることが、生徒の主体的な活動につながります。



ICT②

#### <個別最適な学び>

・アンケートの分析や結果の共有の場面で、学習支援ソフトのテキストマイニングの機能を用いることで、生徒の興味・関心を高めたり、課題を焦点化したつながりがあります。



ICT②

#### 単元における個別最適な学びと協働的な学びの具体化

#### <個別最適な学び>

##### 指導の個別化

地域の歴史や産業に関連する、自分のテーマについて、自分に合った方法（取材やフィールドワーク、図書館の書籍、検索機能等）で情報を収集し、まとめたり、表現したりする。

##### 学習の個性化

小学校での既習事項や生活経験、これまで調べたり話し合ったりしたことを基に、地域についての情報を出し合って意見交換し、自分の住む地域に関する個人の課題を設定する。

#### <協働的な学び>

探究的な学習を通して知った地域の歴史や産業を、地域の魅力と結び付け、友達、地域の人などとの関わりの中で、地域の活性化のために自分ができることを考える。

#### ◇評価規準

地域の歴史や産業に目を向けて課題を設定し、解決への見通しをもっている。

【思考・判断・表現】（発言、学習シート）

#### 【総合的な学習の時間の評価について】

総合的な学習の時間で目指す児童生徒の姿は、各学校において児童生徒の実態を踏まえて設定します。評価を見通しをもって計画的に行うために、誰がどの場面で、どのように評価するかを明確にしておくことが大切です。児童生徒の学習状況を評価する際は、妥当性を高めるためにも多様な評価と過程の評価を意識して行います。